

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
南本 長徳			
月1			
添付ファイル			

科目の概要	教育課程とは学校の教育計画であり、教育内容とその授業時数等からなる。本授業では、教育課程の意味の解説から始め、学校教育における教育課程の基本的な構造(仕組み)、すなわち、目標、内容、方法等に関して包括的に理解できることを目指す。特に、わが国の教育課程編成の国の基準となる学習指導要領の法的な性格や教育内容についての理解を深めるとともに、各学校の教育計画のもとで、カリキュラム・マネジメントの考え方にに基づき、各学校で教育課程が具体的にどう編成され、実施されているかについて、学習評価を含め基礎的・理論的な理解を図っていく。
授業の内容	<p>第1回 教育課程という用語(概念)の意味 教育課程とは何か、その意味について解説する。</p> <p>シラバスを事前に読んでおくこと。事後学習：本日の説明の中心である「教育課程」という用語にかかわり、自分の興味ある教育の事柄について、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>第2回 教育課程の意義 教育課程の意義について説明する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「教育課程の意義」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>第3回 法制にみる教育課程 教育課程編成にかかわるわが国における法令(法的規定)を説明する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「教育課程の法制」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>第4回 学習指導要領とは何か わが国における小学校学習指導要領の性格と位置づけ、及び教科用図書を説明する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「小学校学習指導要領」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>第5回 平成29年告示の学習指導要領改訂の経緯 学習指導要領改訂の経緯について、社会の変化等から理解を深める。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「学習指導要領改訂の経緯」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>第6回 平成29年告示の学習指導要領の基本方針 平成29年告示の学習指導要領の基本方針を理解させ、改訂内容の重点を説明する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「学習指導要領改訂の基本方針」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>第7回 教育課程編成の主体 わが国における各学校の教育課程編成の主体(責任の所在)を誰が担うかについて説明する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「学習指導要領編成の主体」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>第8回 教育課程編成の原則 わが国の各学校における教育課程編成の原則について理解を深める。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「教育課程の編成の主体」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>第9回 教育課程編成の考え方 教育課程編成の諸理論(教科中心カリキュラムと経験中心カリキュラム)について、資料等を用い解説する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「教育課程の編成の考え方」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>第10回 生きる力の育成と確かな学力、豊かな心、健やかな体 今日におけるわが国の教育目標とも言える「生きる力」を育む、確かな学力、豊かな心、健やかな</p>

	<p>な体を育成するための教育活動を説明する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「生きる力」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>生きる力と育成を目指す資質・能力 児童の発達の段階や特性等を踏まえた資質・能力の育成を説明する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「育成する資質・能力」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>カリキュラム・マネジメントとは カリキュラム・マネジメントに基づく教育課程編成の手順を説明する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「カリキュラム・マネジメント」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>教育課程の実施 教育課程の実施に関して、授業改善の方向として強調されている主体的な学び、対話的な学び、深い学び、言語能力の育成、ICTの活用、仮説に基づく学習や振り返り学習、体験活動について説明する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「教育課程の実施」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>学習指導要領の変遷 学習指導要領の改訂の歴史の変遷（特に平成元年から平成20年の各改訂を中心に）について概説する。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「学習指導要領の改訂の歴史」という事柄にかかわり、前時の学習事項との関連も踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深める。</p> <p>講義内容の到達点と総括 授業内容の振り返りとまとめ。</p> <p>事前・事後学習：本日の説明の中心である「講義内容の到達点と総括」という事柄にかかわり、本講義の全体にわたる学習事項を踏まえ、自分の興味ある教育の問題・課題について、指定した教科書を中心に、本や新聞等の身近な情報を利用し、考え、理解を深め、まとめを行う。</p>
学習到達目標	<p>わが国の学校教育における教育内容の質的基準を規定している教育課程について学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各学校で取り組まれている各種の教育活動についての理解を深めるために、教育課程の意義と役割を理解できるようになる。 2. わが国における教育課程の基準を理解するために、教育課程に関する法制（学校教育法、施行規則、学習指導要領、教育要領）に関する知識を習得できるようになる。 3. 教育の機会均等の理念を具体化する方向で、最低限度の教育水準を確保するために設定されている、学習指導要領の性格や内容を概念的に理解できるようになる。 4. 各学校における教育目標を踏まえた教育課程の編成のあり方を理解するために、編成の原則をはじめ、カリキュラム・マネジメントの在り方、及び教育課程の実施と学習評価を包括的に理解できるようになる。 5. わが国の小学校教育の内容の変遷を理解するために、学習指導要領の改訂の変遷と主な改訂内容を、わが国の社会の変化等との関連で理解できるようになる。
授業の方法	<p>授業時間内で、小学校の教育課程に関する理解を深めるために、（集団）討議の時間や小レポートの作成の時間を設定して、教育課程の講義内容に関する興味や関心を高め、関連した基礎的・基本的知識の習得を促進させる。</p>
成績評価の方法	<p>学期中の授業内での「確認テスト」が65%、毎回の授業中の学習活動に基づく「レポート」が35%。</p>
教科書・テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文部科学省編『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』東洋館出版 平成30年 2. 文部科学省編『小学校学習指導要領』（平成29年3月告示）東洋館出版 平成30年
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文部科学省編『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』東山書房 平成30年 2. 南本長穂編『新しい教職概論』ミネルヴァ書房、平成28年
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<p>◎ 「授業の内容」の欄に示していることに加えて、適宜、レポートや調べ学習などを課題とする。</p>
履修上の留意事項	<p>教育課程に関する専門用語はたくさんあるので、常に予習と復習で、用語の意味内容に習熟してください。授業中は授業内容に関係のない私語は慎んで下さい。</p>
オフィスアワー	<p>授業終了後に教室で相談を受け付けます。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>授業中のレポートについては、3～4回分まとめて、全体的な公表を授業中に行う。</p>
実務経験	<p>特になし。</p>
その他	